

まめまめ通信



さいわい
こども
クリニック

2025. Jan
Vol. 32 No. 1

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

私どもさいわいこどもクリニックは、今年 2 月 3 日で開設 33 年になります。「地域の子どもたちを笑顔にする」というミッションを掲げ、今年も医療・福祉多職種の専門職チームとして、子どもたちの未来が燦々(さんさん)と輝けるよう職員一同笑顔で取り組んで参ります。

理事長 田中寿美子

新年あけましておめでとうございます。

本年は「乙巳(きのとみ)」です。乙(きのと)はしなやかに伸びる様子を、巳(へび)は脱皮を繰り返すことから再生や変化を示しているといわれています。私たちも時代の変化に柔軟に対応し、今年もすすすくとしなやかに成長する皆様に応援したいと思います！

院長 平野静香

昨年は、熱や咳が長引く方が多かったですね。そんな中でも笑顔を見せてくれるお子さまの姿に、私たちは元気をもらいました。また、久々にワクチンでお会いできた中高生のみなさまの成長を見て、とても嬉しい気持ちになりました。今年もより一層みなさまの、健康の支援ができるよう取り組んでいきます。

看護部一同

新年あけまして おめでとうございます 今年もよろしくお願いします



今年の事務部は、ズバリ「縁の下の力持ち」です。待合室で患者さんが安心して快適に過ごせるように、先生たちがスムーズに診察できるように、看護師さんが困った時はお助けマンになれるように。今年も縁の下の力持ちとして頑張ります！何かありましたら気軽に声を掛けてください。

事務部一同

あけましておめでとうございます。良き新春をお迎えのことと心より喜び申し上げます。心理相談では、お子さまに関する悩みごとやちょっと気になることまで、さまざまなご相談をお受けしています。本年も皆様に少しでもご安心いただけるよう、またより多くの方々にご相談に来ていただけるよう尽力していきます。

心理一同

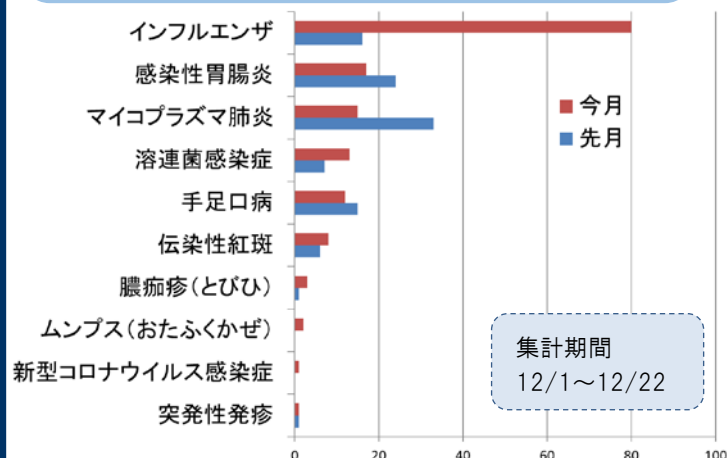
在宅診療部では、立川を中心に半径 10 キロほどの多摩地区の方たちを訪問診療しています。ご本人とご家族の日々の医療の悩み事を伺い、対応を考えています。今年も皆さんがおうちで、ご家族と楽しく過ごせるようお手伝いしていきます！新しい出会いも楽しみです。

在宅診療部長 雨宮馨

今年も、一人でも多くのお子さまと保護者が元気になって、笑顔でお見送りができる日が増えるよう、チームでケアいたします。病気で体が辛いときや、初めての方でも安心して過ごせるよう、家庭的な雰囲気大切にしながら、一日も早く回復できるように努めて参ります。

ばけっと病児保育室一同

感染症だより



マイコプラズマの流行が一段落し、インフルエンザの流行シーズンに入りました。学校・幼稚園での拡大が懸念されます。熱が長引く、咳がづらい・吐き気が強いなどで水分が摂れないなどありましたら、隔離期間内でも再受診をお勧めします。(ヒ)

お正月



サービスの
コーナー

【1 月の折り紙】

コマとぼち袋

【おすすめ絵本】

「クマとうさんの こもりうた」

作・絵：デビ・グリオリ 訳：山口 文生
出版社：福音館書店



最新の診療予定

こちらの QR コードからご確認ください

* 12:30~13:30 はお電話による受付ができません。ご了承ください。



時間外電話相談のご案内

①母と子の健康相談室 *365 日対応 #8000

②クリニック代表電話 *木・日曜祝日を除く時間外 24 時迄
042-536-7280

専門のスタッフが時間外も相談をお受けします。音声ガイダンスが流れますので症状についてのご相談をお選びください。



インフルエンザは、確定時の病初期からお預かりしています。
お部屋は、加湿器を使用し、室温調節をしながら換気を行っています。
鼻水はたくさんのウイルスが含まれているので、こまめな手洗いは欠かせません。
アルコール消毒も効果的です。



低年齢のお子さん

高熱でも見た目は元気になっていることもあります。とても疲れやすいので、安静を保った遊びをして過ごします。抱っこで過ごす時間も多いです。



年長さんから小学生

頭痛を訴えたり、ぐったりしていたりすることが多いため、横になってゆっくりと休みます。少し症状が和らいできたら、絵本を読むなど、布団の上でできる遊びをして過ごします。



体温調節

- 高熱が出始めるとき、手足が冷たくガタガタ震えてくることがあります。そのときは布団などの掛物や上着など衣類を増やして温くします。
- 上がりきった後は暑く感じるので薄着にしたり、薄いタオルケットに変えたりします
- 嫌がらなければ、アイス枕を使用します。

解熱剤

高熱でつらく、水分が摂れない、眠れないなどの場合は、解熱剤を服用します。熱が下がっている間に眠ったり、食事を進めます。



食事と水分補給

好きな物を少しずつ食べるようにしています。口当たりの良いゼリーやヨーグルト、果物などは食べられる事が多いです。無理せず、回数を分けて、水分中心に進めていきます。

飲み物について

発熱時にはこまめな水分補給が必要になります。保育室では麦茶を用意しています。味が好きではない場合は飲み慣れたものや、好きなジュースなどをお持ちいただくと助かります！



インフルエンザ受診のタイミング



周囲でインフルエンザが流行っている！高熱が出た！早くの受診が必要？

インフルエンザの迅速検査は発熱後早期では検査の精度が落ちます。発熱から半日程度経過してからの検査が有効です。解熱剤が自宅にある場合は解熱剤を使用しながら水分をよくとって自宅で様子を見ることも可能です。解熱剤が自宅にない、ぐったりして水分が全く摂れない、意識がはっきりしない等、具合が悪い場合は受診が必要です。受診のタイミングに迷いましたら電話でご相談くださいね！(H・N)